

基本目標 11 地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進

1 基本目標の2021年度の成果評価

(1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
【評価】 【課題】	
小平 委員	【評価】 ・基本目標に対しては急激に進むものでなく積み重ね及び現在の裾野の広げが必要 【課題】 ・市民の意識を高めることが重要であり、浸透率は低いと思われる
西森 委員	【評価】 ・評価する 【課題】 ・ゼロカーボンやごみの再資源化等、市民に「何を」「どうすれば」「成果がある(得する)」的な教育的啓発が必要。
宮脇 委員	【評価】 ・基本目標のねらいと認識は妥当と評価する。 ・異常気象が続く中、地球環境をどう維持改善していくか喫緊の課題となっており、ゼロカーボンへの取組みはまちづくりに必須であるため。 【課題】 ・2050年をまだ先の事と捉えがちであり、具体的な年度目標を市民益とどう紐づけ成果を上げられるかが課題。
筒井 委員	【評価】 ・継続 【課題】 ・配慮の意識が一部市民にとどまっている。
古川 委員	【評価】 ・目標、取り巻く状況認識は妥当 【課題】
熊谷 委員長	【評価】 ・妥当 【課題】 ・環境に関しては、全般的に市民への啓発が不足している。
新井 委員	【評価】 ・概ね妥当 【課題】 ・リニア事業をプラスに転じる感が伝わってこない。
原 副委員長	【評価】 ・基本目標を取り巻く状況の認識に関し、狙いや取り組み内容は良いとして、その前提に立つ取り巻く状況をどう認識しているかが記載されていないため、基本目標のねらいと課題との関係性が分からない。 【課題】 ・よって、地球環境への配慮が当たり前であることをねらいとするなら、その現状認識を課題別に明確に示すべきではないか。

評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
② 取り組みの内容をどう評価するか 【評価】 【課題】	
小平 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンシティ宣言より1年、具体的な取り組みが見えない <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模な取り組みとともに大局的に進める必要がある
西森 委員	<p>【評価】</p> <p>概ね評価する。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々には補助事業として行っているものもあり、成果としては認めにくい事業もある。見直すことも必要か。
宮脇 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の取組み内容が具体的であり、市民参加型となっている事を評価する。地域内循環型エネルギー戦略は、特定のエリアでの実証実験が行われており、今後市民への展開が分かり易い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ3Rの推進、ZEH仕様住宅の推進、再生可能エネルギーの活用など、市民益とどう紐づけしていくのかが問われている。
筒井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善（予算無） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の事業所などとの意見交換や情報共有などの施策が無い。
古川 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭省エネコンテスト実施は評価する <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPI へ各家庭に関わる指標あるとよい …家庭での省エネを心掛けているか…市民アンケートなど
熊谷 委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの域産域消やごみ3Rについては、燃やすゴミの減少やマイクログリットなどの取り組みは評価できる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ZEH住宅の普及や環境に対する市民意識の向上につながる取り組みに、工夫が必要。
新井 委員	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境への意識は高いが、それが経済に転換されていない。
原 副委員長	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりになってきているかという点、その実感はしない。この課題を市民が共有するまでには至っていない。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPI に示される⑤⑦を内容と共に見直し高めていく活動が足りていないのではないか。まちづくり委員会をどう巻き込むか、若者の共感を得るにはどうしたらよいか、に着眼し進められたい。

(2) 戦略計画

年度戦略 (小戦略)	11-①	ごみの3R(減量・再使用・再資源化)を地域ぐるみで推進
評価のポイント		基本目標との関係性から評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
小平 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地球環境への配慮」という基本目標に、3Rの具体的取組は、公報いいだ・ガイドブック作成・啓発は、進めているようだが、何が地球環境に <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域ぐるみ推進」の成果が乏しい ・生ごみ処理機121件の導入で、燃やすごみの削減できたとあるが、他にも要素はあるのではないか ・アプリのダウンロード目標5,000は、飯田市が40,000世帯として12.5%であり妥当か? ・ごみの排出に削減になるための、エコ商品の購入時の選択やエコボトル等の取組みも必要ではないか
西森 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人たちの生活の中ではスマホにてアプリによる情報収集が日常となる中、今後アプリのダウンロード数は右肩上がりとなることが予想されます。 ・ごみの減量化には数値上はつながっていない。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ渦にて自宅活動時間が増えたことにより家庭粗大ごみや高齢者の終活処分が進んだといわれている。今後のごみの排出量の推移に注目する。
宮脇 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの3Rについては、SNS、紙ベースでの必要性を周知する取組みと、対面での研修会など、あらゆる世代への意識向上の取組みを評価する。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ3Rの推進は、地域で自治会未加入者へどう展開するかが課題。一部の心無い方のゴミ出しで、地域全体が迷惑をしている実態もあり、ゴミ分別がなぜ必要か、あらためて周知が求められている。
筒井 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会への依存のみで行政の行動が少ない。
古川 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組みは一定評価 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民挙げて…で民間・企業へゴミ削減の働きかけが見えない。どのくらいの企業にどのような働きかけをしているのか見えるか必要 ・フードロスの取組みで児童生徒へ学習会などとしてはどうか
熊谷 委員長		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃やすゴミの減少はある程度評価できる。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瓶の回収については、一升瓶の扱いに苦労している一般酒店が多い。大手スーパーなど酒類を販売している全ての店舗での回収について検討されたい。
新井 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当
原 副委員長		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの3Rに関してはごみの排出量をKPIとしているようだが、別冊データ14ページごみ処理の状況を見ると、資源ごみが減る傾向にあり、排出ごみは燃やすごみが増加傾向、一人当たりのごみの量も増加傾向、処理経費も増加と、削減活動もその結果も有効とは言えない。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境にとってごみの3Rがどう結びつくのかを具体的に明示し、活動を進められたい。

年度戦略 (小戦略)	11-②	家計や事業経営を助ける省エネ型への転換
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
小平 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネに取り組む家庭・企業が、コンテストや運動週間等で広がってきている <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減に対して目に見える数字的なものがなく進めにくい ・CO2吸収の活動も取り入れていく（森林管理・カーボンクレジットなど） 	
西森 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー等啓発の機会に恵まれない中オンライン開催等苦勞が垣間見え評価する。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車の普及に関しては、なかなか一般では価格上で手が出ないのが実情、給電ポイントの増設や給電時間がかかるのもネックとなっている。 ・企業に対しては、自然エネルギー利用のための事業参画（資金参入）を一層進めることが望まれる。 	
宮脇 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネへの転換の推進は、SDGs や ISO14001 という世界標準への意識改革と市民参加型（環境メッセ）での啓発を評価する。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ZEH 仕様住宅への取組みは、民間との連携でメリットとデメリットを県内外へ周知すると共に、これから住宅を希望する若い世代への展開が急務。 	
筒井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EV やエアコンなどの電力の消費量が増加する。 	
古川 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭省エネコンテストの実施は評価 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの市民・家庭への参加呼びかけ実施を要望 ・KPI へ各家庭に関わる指標あるとよい…家庭での省エネを心掛けているか…市民アンケートなど 	
熊谷 委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭省エネコンテスト」の取組みは評価できる。今後も進められたい。EV 車両購入補助については、増額の検討も含め継続されたい。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田市版 ZEH 住宅は、「気候風土を生かした健康に優しい仕様」とあるが、一般的な ZEH 住宅とどのように違うのか、メリット・デメリットをきちんと施主に理解して頂く取組みが必要。 	
新井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当 	
原 副委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者対応として南信州・飯田産業センターとの連携も良いが、学習機会の創出にはなるものの地域ぐるみの活動にはならない。 <p>KPI⑥に示す数字は良いが、この数字がどれだけの節電に繋がっているかが問題で、数字倒れているのではないかと。</p> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費は家庭よりも事業所のほうが圧倒的に多いのではないかと。その意味では、ZEH 政策も良いが省エネの汎用対策として事業所の役割に注目し商工会議所などと連携し見える活動にしていく事を検討されたい。 家計からの省エネはまちづくり委員会の共同事業として進めて行くことをされたい。 	

年度戦略 (小戦略)	11-③	エネルギーの域産域消による環境と経済の地域内好循環と防災力の強化
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
小平 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光・蓄電池のマイクログリッド化が進み成果となる。太陽光以外にも取り組む成果が出来つつある <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新エネルギーの検討 企業による再生可能エネルギー機器導入
西森 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ・ウクライナ戦争等により原材料費の高騰と不足にて進捗状況が順調とはいえない。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原材料費高騰や資材不足のなか、計画段階にある事業について、今後の投資が増大が見込まれる中、計画に対して「GOサイン」なのか「STOPサイン」なのか一考を要するのでは。
宮脇 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災時の対応を視野に地域マイクログリッドの実証実験への取り組みを評価する。地域内循環型のエネルギーによる環境影響を図り、他地域への展開を期待する。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水力発電などを更に活用し、太陽光発電に頼らない展開が必要。 ウッドショックなど、経済環境における負の要因が大きい場合など、早い時期に見直す視点が求められる。
筒井 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 改善（予算有） <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電（メガソーラー地区や土地利用を推進）増やす。
古川 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取り組みは一定評価 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍とは言え上村小水力事業は10年余経つが一向に芽が出ない
熊谷 委員長		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> マイクログリッドの取り組みは、今後期待できる。川路地区との連携を強化し実証実験を進められたい。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペレットストーブについては、昨年も提言しているとおり、コストや発熱量の面で課題が多い。十分な検証を行って頂きたい。 小沢川小水力発電について、物価高の影響により建設費の増大が見込まれる中で事業主体である上村まちづくり委員会の財政基盤が心配。市の課題認識にあるよう適切な進捗管理を実施されたい。
新井 委員		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね妥当 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね妥当
原 副委員長		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギーの地産地消は成果を上げることに期待がもたれる。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済と環境との関係は小戦略の考え方の(4)がこれからのので「環境文化都市」実現のためにも今後期待したい。

年度戦略 (小戦略)	11-④	リニア駅周辺におけるモデルエリアの構築
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 【成果】 【課題・方向性等】		
小平 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ZEH 件数は76件中7件と成果あり バイオマス発電やオフサイト PPA、VPP 等議論・検討と進捗している <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマスに対して、飯伊は県内一の森林資源を有効利用できるか。ZEH に対しては、民間業者の勧めが必要 	
西森 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果的には、処々の事情にて鈍化の方向性にあり。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に書かれている通りと思う。 ・バイオマス利用についての研究検討の真直度が明確でない。 	
宮脇 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅周辺の環境に配慮した再生可能エネルギー導入の取組みは、その視点を評価したい。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柱になる施策（地域マイクログリッド、ZEH 仕様住宅など）を達成させる条件を整理し、中部電力・建設関係者との課題共有と対策の明確化が課題。 	
筒井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア住民の理解と協力 	
古川 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田版 ZEH 補助金制度開始は評価 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川路地区の事業も中部電力頼みの感があるが、どう横展開するか課題 	
熊谷 委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境共生住宅への補助制度について7件の活用があったことは、評価できる。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ZEH 住宅の建設を進めることも大切だが、環境に配慮するのであれば、敷地造成の段階から、緑地帯や公園整備などを計画すべき。個別住宅においても建物配置や植樹の推奨など、きめ細かな指導や支援が必要。 	
新井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残念である。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅まで歩いて数分の好立地。にもかかわらず、旧態依然の姿。移転者の皆さまのご苦労が報われ、かつ他の方々から羨望のまなざしが注がれるエリアに人々は魅力を感じ、投資をする。また、その投資は、産学官連携の良きフィールドであるにも関わらず、重ねて残念としか言えない。 	
原 副委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在7件という事だが、戦略の考え方をそのまま当該エリアに求めていくのは無理があると思われる。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルエリアとするにはエリア全体がそうになっていないとモデルとは言い難いので、更なる働きかけに期待したい。 	

年度戦略 (小戦略)	11-⑤	生活をよりよく心豊かにする環境学習と実践の推進
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか		
【成果】 【課題・方向性等】		
小平 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民・小中学生に環境学習が少数ではあるが出来ている <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークの認知度向上 	
西森 委員	<p>【成果】</p> <p>行っていることは評価するが、成果となると達していない。</p> <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に啓発学習活動であるが、まだまだ浸透しているとは言い難い。 ・ジオパーク体験事業は、トレッキング愛好家のための講座となっていること、内容やガイドが「なんでもジオパーク」的な対応となっていない。 ・外来生物のオオキンケイギクは黄色いマリーゴールドで綺麗と言って除去に至っておらず黄色い花を目にすることが増えている。 	
宮脇 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習による心豊かな生活への取組みは評価する。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地道な環境地区懇談会の継続による市民意識の啓発が必要。地域によって、ジオパークを根付かせるなど、その魅力開発が課題。 	
筒井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善（予算有） <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスジオパークをどう生かすか戦略が見えない。 	
古川 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあるが、多方面での学習会開催など評価 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオ・エコパークの市民認知度ををはかるため市民アンケートなど利用しては 	
熊谷 委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークについて、アクションプランを定め、再認定に向けて取り組むことを確認したことは評価できる。 ・環境学習の実践については、学習による成果を確認することが難しいため、評価しづらいが、自然環境保全ポスターの応募数が全小学校 4 年生の 65%に及んだことは評価できる。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークについて、ジオに拘らず歴史や文化、観光とも結びつけたきめ細かな活動を実施されたい。また、市民の認知度を上げる取組みが必要。 	
新井 委員	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね妥当 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済が伴わない環境整備では、長続きしない。 	
原 副委員長	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前提として、戦略タイトルが生活と心豊かにが目的になっているが、基本目標は地球環境としているので、そのための戦略の考え方を反映したものであるべきでは。KPI⑤の活動も低調。 <p>【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習をどう進めて行くかがキイとなってくると思うが、何のためにを課題にした学習会と学習に基づいた活動計画を、まちづくり委員会主導で行う事を検討されたい。 	

(3) 実績を踏まえた事業確認

評価のポイント	現状確認と今後に向けた課題・方向性等
2022 年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映しているか	
小平 委員	・ゼロカーボンシティを目指すために何をやるべきか具体的な CO2 削減、CO2 吸収を市民に周知し進めていく必要がある。まだ一部の参加で多くの市民、企業が参加しないと地域ぐるみにならない
西森 委員	・それなりに反映しているが、ジオパークの再調査に傾注しているだけで、飯田市としての取組みが無いのが残念。
宮脇 委員	
筒井 委員	・現状は一定の成果は上がっている。(ゴミ処理、3R) ・全市民・事業者との共働とまではなっていない(課題)
古川 委員	・方向性 妥当
熊谷 委員長	・概ね妥当
新井 委員	・概ね妥当
原 副委員長	・概ね妥当。ただ、地球環境への配慮と戦略の考え方がリンクするような構成になっているとなおよい。また、戦略の考え方にあるグリーンリカバリー(脱炭素で循環型の社会を目指すための投資を行うことによる経済復興のこと)はまだ認知度が低いので、ここを精力的に広める活動に注力されたい。 リニア駅周辺の誰もが訪れる――は違うと思う。訪れることが目的の様になっているが、モデル都市を創出することが肝心なことでは。再度検討されたい。

(4) 進捗状況確認指標

評価のポイント	達成度を成果指標等により評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	
小平 委員	・CO2 排出量削減の KPI は、最大の目標として必要であり評価できる
西森 委員	・コロナ渦、戦時下においては一定の評価とする ・ごみの減量化は経年推移にて判断となるのでは。 ・小中学校ではカリキュラム時間の割り振りにて授業として取り組むのが難しいため、長期休暇の子供預かりや学童教室への出前講座等の推進やPTA講演会への働きかけが良いのでは。
宮脇 委員	
筒井 委員	・CO2 排出減割合（%）が改善されてる事は評価できる。 ・省エネや節電を実践している人数比率が下がって来ている。
古川 委員	・KPI へ各家庭に関わる指標あるとよい…家庭での省エネを心掛けているか…市民アンケートなど ・ジオ・エコパークの市民認知度ををはかる指標必要 市民アンケートなど利用しては
熊谷 委員長	・ZEH 住宅の建設件数など、関連した指標が必要では。
新井 委員	・概ね妥当
原 副委員長	・基本目標との関連性を分かりやすく簡潔に説明できるような指標かのチェックをお願いしたい。現在の指標は関連性の点で全体に分かりにくい。この2点の検討をされたい。

(5) 分野別計画

▼いいだ未来デザイン 2028 戦略計画【2021（令和3）年度】分野別計画一覧

評価のポイント	評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
① 分野別計画のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	
② 取り組みの内容をどう評価するか	